

早稲田大学ラグビー蹴球部におけるスポーツ医・科学サポート

宝田雄大

早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード： 競技力向上、リハビリテーション、体力、システム、測定

はじめに

早稲田大学ラグビー蹴球部(以下、ラグビー部)では、2004年、競技力向上のためのスポーツ医・科学サポートシステム(Sports Medicine & Science Support System:以下 SMS system)が立ち上がり、今年で5年が経とうとしている。このシステムの主な特徴は、①いわゆるチームドクター制の廃止とスポーツ医・科学サポート担当責任者(Director of Sports Medicine & Science Support:以下SMS ディレクター)の配置、②セカンドオピニオン制の導入、③傷害別の専門医とのネットワークの構築、④トレーナー、鍼灸師、栄養士、トレーニングコーチなどのスポーツ現場の専門職の充実、⑤体力強化及びリハビリテーションプログラムの定量的な効果判定の徹底などが挙げられる。本稿ではラグビー部において2004年より構築してきたスポーツ医・科学サポートについて紹介する。

スポーツ科学研究, 5, 212-223, 2008年, 受付日:2008年9月10日, 受理日:2008年11月13日

連絡先: 宝田雄大 takarada@waseda.jp